

社会文化科学研究科「データサイエンス履修コース」のご案内

2026 年 10 月 1 日 石田友梨 (@)

1. 概要

文科省は数理・データサイエンス・AI をデジタル時代の「読み・書き・そろばん」とみなし、大学卒業生全員がリテラシーレベルを習得するための教育プログラム認定制度を 2021 年より実施しています。本コースでは、データ分析に人社系の専門知を活用して社会的課題を解決することのできる人材の育成を目指します。

2. 履修証明条件：①と②の科目群からそれぞれ 4 単位以上取得する

①アジア・ユーラシア研究とデジタルヒューマニティーズを学ぶ社会文化科学研究科卓越大学院プログラムの「Digital Humanities 2.0 科目群」から 4 単位以上

授業例 1)「テキストマイニング演習」

アンケート分析、文学作品や歌詞などを分析します。テキストを電子化するところから始め、くずし字や写本の手書き文字のデータの機械学習を行うこともあります。

授業例 2)「データサイエンス演習」

履修学生の専門や興味関心に応じ、プログラミングからデジタルアーカイブまで、人文社会科学とデータに関することであれば何でも取り上げます。

授業例 3)「GIS 演習」

コンピュータ上のデジタル地図に位置や空間に関する情報を重ねていくことで、分析と可視化を行います。道路や線路の位置と人口統計データから、人口密集地域の歴史的変遷を考察したり、感染症の拡大や災害への対策を検討したりすることができます。

①社会文化科学研究科卓越大学院プログラム「Digital Humanities 2.0 科目群」

	授業科目の名称	配当年次	単位数
1	社会学 2	1～2	2
2	社会学演習 1	1～2	2
3	社会学演習 2	1～2	2
4	テキストマイニング演習	1～2	2
5	データサイエンス演習	1～2	2
6	GIS 演習	1～2	2

(https://shabun.csv.okayama-u.ac.jp/takuetsu/wp-content/uploads/sites/5/2025/10/20250918_202510_course.pdf)

②人間、社会、文化の3つの側面からデータに基づく教育を学ぶ教育学研究科 X（クロス）プログラムの「専門科目（教育データサイエンス科目）」から4単位以上

授業例 1)「心理データアセスメント特論」

人の感情や性格、能力といった目に見えないものを「構成概念」といいます。その構成概念を測定するための「ものさし」となるのが、質問紙（アンケート）やテストです。この授業では、質問紙・テストの設計、実施、データ分析の方法等を学修し、目に見えないものを的確にとらえるための科学的な測定方法について理解を深めます。

授業例 2)「教育科学のための計量分析 I」

定量的な教育科学研究の方法論的基礎である計量社会科学を体系的に学びます。なかでも、現代のあらゆる科学研究や意思決定の基盤となりつつある統計的因果推論の理論と実装に重きを置きます。教育データサイエンティストとして社会で活躍するための素養をしっかりと身に付けることができます。

授業例 3)「メタバース空間構築演習」

3DCG や VR・AR アプリを制作している株式会社白獅子より技術指導をいただいております。トラッキング機能を使った伝統楽器の演奏、文化財の 3D モデル作成など、あなたのアイデアを形にしていく授業です。メタバースなら学校そのものを作ることができます。教育学の知見に基づき、理想の学校や教材をデータサイエンスのスキルで実現しませんか？

②教育学研究科 X プログラム「専門科目（教育データサイエンス科目）」

	授業科目の名称	配当年次	単位数
1	心理データアセスメント特論	1～2	2
2	教育科学のための計量分析 I	1～2	2
3	計量文献学特論演習（＝テキストマイニング演習）	1～2	2
4	時空間情報処理演習（＝GIS 演習）	1～2	2
5	デジタル資料活用演習（＝データサイエンス演習）	1～2	2
6	テキスト処理演習	1～2	2
7	データ連携活用演習	1～2	2
8	メタバース空間構築演習	1～2	2
9	データサイエンス概論	1～2	2
10	Excel と R を用いたデータ処理	1～2	1
11	Python を用いたビッグデータ解析	1～2	2
12	No Code を用いたデザイン	1～2	1

(<https://eds-okayama-u.studio.site/>)